

大子町(だいごまち)

 町章 〒 319-3526 〈住所〉久慈郡大子町大字大子866番地 〈TEL〉0295-72-1111 〈FAX〉0295-72-1167 〈HP〉http://www.town.daigo.ibaraki.jp/ 〈e-mail〉info@town.daigo.lg.jp	法人番号	3000020084425
	地域指定	一部事務組合加入事業
退職手当 消防賞じゆつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市 町村会館管理 滞納処分等 農業共 済 法適用(上水) 法非適用(特定地域生 活排水)		
Ⅳ-1 地方公共 団体コード 083640 面積 325.76 km ²		

<行政組織>

①長等(令和元年5月1日現在)

長	たかなし てつひこ 高梨 哲彦 (50歳)	任期	令和5年1月11日
		就任回数	1期目
副町長	赤津 康明		

②議会(令和元年5月1日現在)

議長	大森 勝夫	副議長	中郡 一彦
任期	令和2年3月30日	条例定数	15(13)人
現議員数	15人		
党派別	自民1人, 公明1人, 共産1人, 無所属12人		

③職員数(平成30年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係		公営事業 会計関係	
	うち一般行政関係			
250	218	155	32	
一般行政職の 平均給料月額	2,982 百円	ラスパイレ ス指数 99.0	地域手当 補正後 ラス指数	99.0
全職員数 の推移	平成27年4月1日	平成28年4月1日	平成29年4月1日	
	261	253	252	

④機構図(平成31年4月1日現在)

〈町長〉 - 〈副町長〉 総務課 まちづくり課 財政課 税務課 農林課 観光商工課 建設課 福祉課 健康増進課 生活環境課 (衛生センター, 環境センター) 町民課 〈会計管理者〉 会計課 〈消防本部〉 消防署 〈水道事業〉 水道課 〈教育委員会〉 教育委員会事務局 〈議会〉 議会事務局 〈行政委員会〉 農業委員会, 選挙管理委員会, 監査委員, 公平委員会, 固定資産評価審査委員会

<概要>

①沿革

昭和30年3月31日 合併 大子町 依上村 佐原村 黒沢村 宮川村 生瀬村 袋田村 上小川村 下小川村の一部
--

②地勢・風土等

茨城県の最北西端に位置し, 北は福島県, 西は栃木県に接するやや南北に長いほぼひし形の形をした広大な町である。面積の約8割は, 八溝山系と阿武隈山系からなる山岳地である。気候は低温多雨の寒暖の差が大きい山岳気候で, この特性を活かしてお茶, りんご, こんにゃく, お米などの多くの特産物が生産されている。日本三名瀑の一つ袋田の滝をはじめ, 県内最高峰の八溝山や男体山の秀峰, 久慈川の清流, 奥久慈温泉郷などの自然資源に恵まれた山紫水明の地で, 年間150万人の観光客が訪れる観光と農林業の町である。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成31年4月1日)	
	平成17年	平成22年	平成27年		
人口	男	10,743	9,780	8,765	7,975
	女	11,360	10,293	9,288	8,366
	合計	22,103	20,073	18,053	16,341
世帯数	7,356	7,140	6,733	6,593	

④有権者数(平成31年3月1日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	7,565	7,863	15,428	

<産業・経済>

①生産・所得(平成27年度)

市町村内 総生産	537 億円	住民所得	426 億円
		人口1人当り住民所得	2,361 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成27年度)	就業人口(平成27年国調)
第1次	3,103 5.8%	1,383 15.9%
第2次	14,866 27.7%	2,714 31.3%
第3次	35,313 65.8%	4,582 52.8%
総額・総数	53,653 -	8,855 -

③農業・工業・商業

業種	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
農業 (平成27年2月1日)	2,025	321	1,385
業種	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H27.1.1~12.31)
製造業 (平成28年6月1日)	46	903	18,347
業種	事業所数	従業者数	年間販売額 (H27.1.1~12.31)
卸・小売業 (平成28年6月1日)	281	1,146	16,933

④特産物

大子産米, 奥久慈茶, 奥久慈りんご, 生いもこんにゃく, 常陸大黒, 奥久慈しゃも, 久慈川の鮎, 大子漆(うるし), 大子那須楮(こうぞ)

＜財政状況＞

①決算収支

(千円・%)

区分	平成28年度決算	平成29年度決算	増減率
歳入	10,071,325	9,862,116	△ 2.1
歳出	9,499,226	9,444,308	△ 0.6
形式収支	572,099	417,808	-
実質収支	503,142	365,623	-
単年度収支	△ 105,175	△ 137,519	-
実質単年度収支	△ 170,429	△ 286,319	-

②主な歳入・歳出(平成29年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	9,862	-	△ 209	△ 2.1
地方税	1,764	17.9	△ 19	△ 1.1
地方交付税	3,700	37.5	△ 41	△ 1.1
国庫支出金	937	9.5	△ 43	△ 4.4
地方債	816	8.3	△ 100	△ 10.9
うち臨財債	274	2.8	11	4.2
その他	2,645	26.8	△ 6	△ 0.2
うち繰入金	243	2.5	105	76.1
歳出	9,444	-	△ 55	△ 0.6
義務的経費	4,078	43.2	△ 1	△ 0.0
人件費	1,947	20.6	△ 20	△ 1.0
扶助費	1,234	13.1	4	0.3
公債費	897	9.5	15	1.7
投資的経費	1,407	14.9	△ 204	△ 12.7
普通建設事業費	1,399	14.8	△ 171	△ 10.9
うち補助	799	8.5	151	23.3
うち単独	600	6.4	△ 289	△ 32.5
その他の経費	3,959	41.9	150	3.9
うち繰出金	1,015	10.7	△ 32	△ 3.1

③主要指標(平成29年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (14.49)
連結実質赤字比率	- % (19.49)
実質公債費比率	3.3 % (25.0) [6.8]
将来負担比率	21.3 % (350.0) [37.0]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成30年度)	0.331	[0.702]
経常収支比率	85.9 %	[90.3]
標準財政規模(平成30年度)	5,902 百万円	[15,229]
地方債現在高(A)	10,034 百万円	[25,274]
債務負担行為支出予定額(B)	907 百万円	[5,537]
積立金現在高(C)	3,880 百万円	[7,450]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	7,061 百万円	[23,361]

*1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

*2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成29年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	591,889 (31.3)	564,259 (32.0)	95.3 [96.0]
市町村民税・法人 (構成比)	103,007 (5.5)	100,719 (5.7)	97.8 [98.6]
固定資産税 (構成比)	991,810 (52.5)	900,526 (51.0)	90.8 [95.6]
市町村税合計 (国保除く)	1,889,696	1,764,201	93.4 [96.2]

＜公共施設整備状況＞(平成29年度) ※1は平成30年度

小学校 ※1	7 校	プール	0 か所
中学校 ※1	4 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	1 園	老人福祉施設	8 か所
保育所 ※1	5 か所	病院・一般診療所	8 か所
認定子ども園 ※1	0 園	道路改良率	40.1 %
図書館	0 か所	道路舗装率	65.3 %
公営住宅	215 戸	上水道等普及率	99.3 %
公民館等	3 か所	汚水処理普及率	44.9 %
体育館	2 か所		

＜主要施策等＞

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
教育環境の充実	R1	小中学校の授業におけるICT化を推進し、プログラミング教育必修化に向け児童生徒の論理的思考や創造性、問題解決力などのプログラミング的思考を育成する。	3
移住・定住促進事業	R1	空き家の利活用による定住促進を強化する。	8
認定農業者育成支援事業	R1	認定農業者の経営安定及び育成を目指す。	4
フィルムコミッション推進事業	R1	フィルムコミッションの推進によるプロモーション活動を強化する。また、ロケ地紹介を行い観光客の集客に取り組む。	3
新庁舎建設事業	R1	建設コスト削減等の見直しを行い、町民の憩いの場としての活用を図る。	898

②今後の主要課題・特色ある行政等

1 若い世代への投資 若い世代をバックアップし、将来の町を支える人材を育むため、教育の充実を図るとともに、空き家/バンク等を活用した定住促進を強化する。
2 地場産業の未来を応援 大子町に雇用が創出され、人が戻ってくるよう、農林畜産業や中小企業への支援を強化する。
3 大子町の魅力向上 奥久慈の大自然を活かし、茨城国体を開催するとともに、観光資源の積極的なPRや森林セラピー等の取組により、町全体の魅力向上を図る。
4 安心安全のまちづくり 高齢者や障がい者など、誰もが安心して暮らせる町づくりに向けて、福祉や健康長寿、防災・生活環境の充実を図る。
5 新庁舎建設の見直しと行政サービス向上 新庁舎建設について、建設コスト削減等の見直しを行うとともに、現庁舎における行政サービス向上を図る。